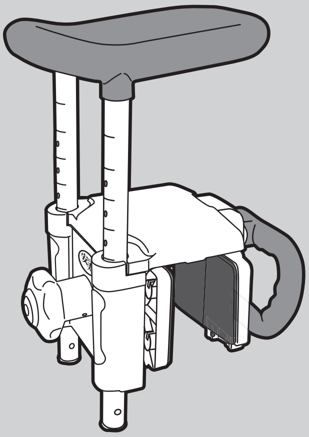
安寿 あんじゅ 高さ調節付浴槽手すり

USTシリーズ

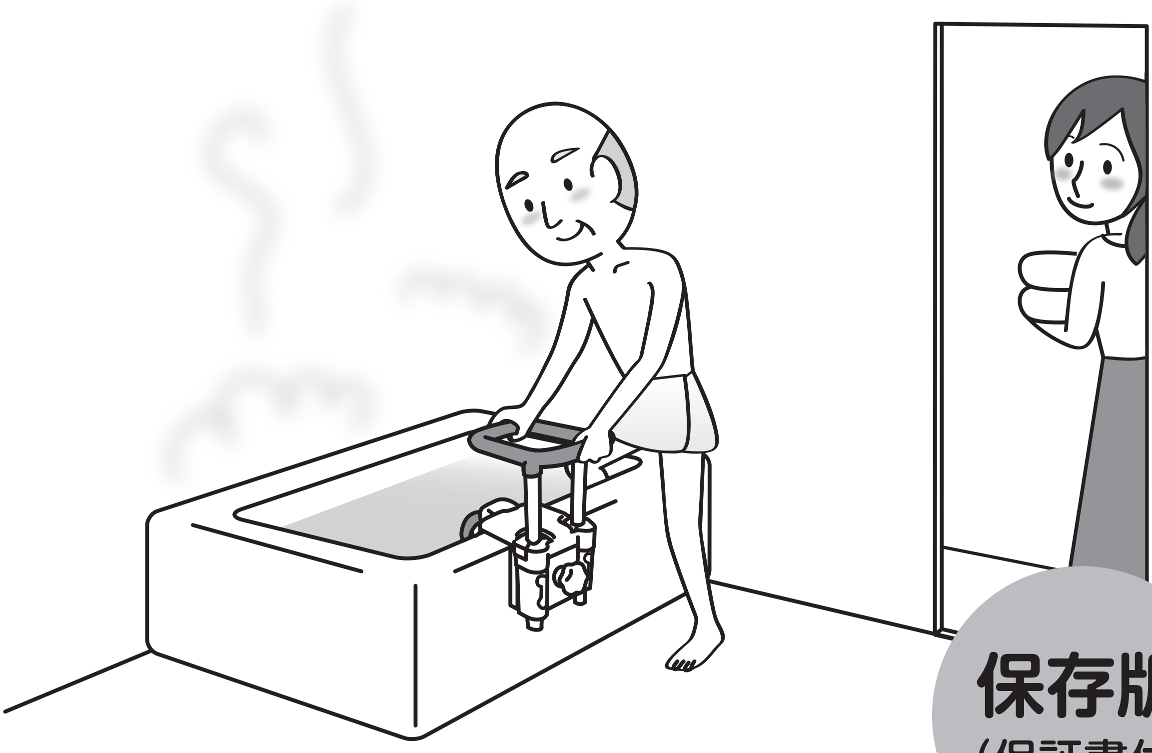
取扱説明書



高さ調節付浴槽手すり
UST-130R

最大使用者体重：80kg

このたびは高さ調節付浴槽手すり UST シリーズをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。この浴槽手すりシリーズは介護が必要な方も、そうでない方もお使いいただけます。快適な入浴をお楽しみください。正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書と保証書を必ずお読みください。



保存版
（保証書付）

ARONKASEI CO.,LTD.

もくじ

確認しましょう　3〜4
・商品の確認 ………………………… 3
・各部の名称 ………………………… 3
・商品の寸法図と仕様 ………… 4

安全上のご注意（気をつけましょう）　5〜6

取り付ける前に　7〜12
・取り付ける前に確認しましょう… 7〜8
・可動フレーム幅を調節しましょう… 9〜10
・グリップの高さ調節をしましょう… 11〜12

取り付けましょう　13〜14
・取り付けましょう …………13〜14

使いましょう　15〜16
・ご使用になる前に …………… 15
・使いましょう ……………………… 16

お手入れしましょう　17〜19
・お掃除のしかた ……………… 17
・保管のしかた ……………………… 17
・点検のしかた ……………18〜19

困ったときには　20〜23
・よくあるご質問 ……………20〜21
・不具合が発生したとき ……… 22
・保証とアフターサービス …… 23

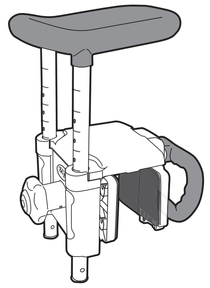
確認しましょう

商品の確認

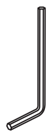
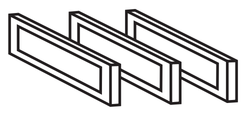
梱包品の確認

本体及び付属品が揃っているか下表を見ながら梱包品を確認してください。

本体

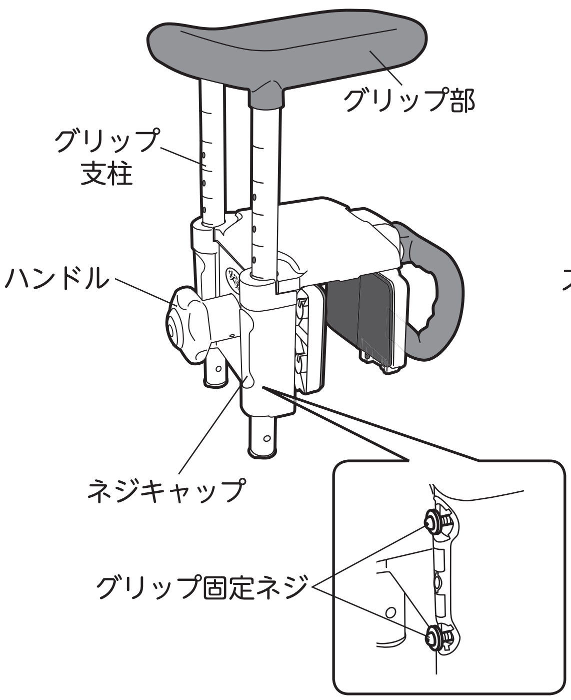


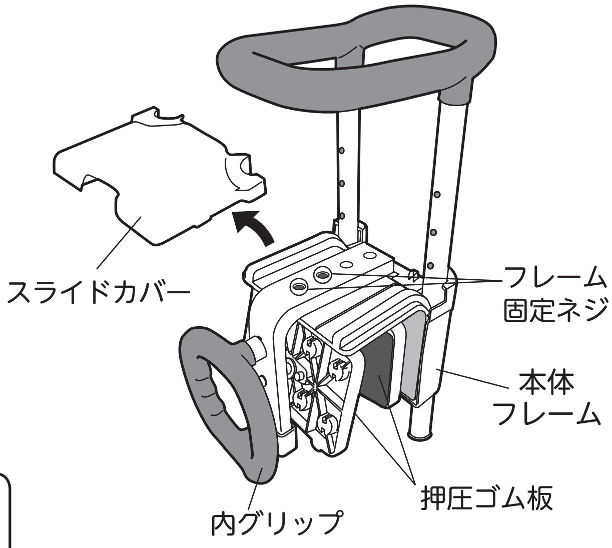
付属品

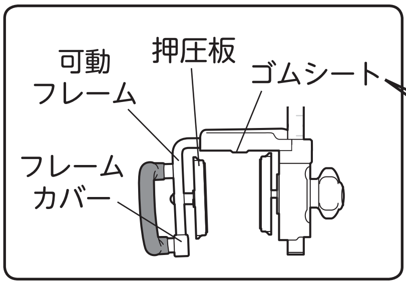
六角レンチ	段差補正板３枚
４㎜１本	16㎝× 6㎝×厚さ５㎜
	

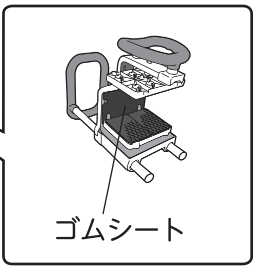
・高さ、幅の調節用（P.10～12）
・ハンドル空回り解除用（P.20）
・内グリップ取り外し用（P.21）

各部の名称



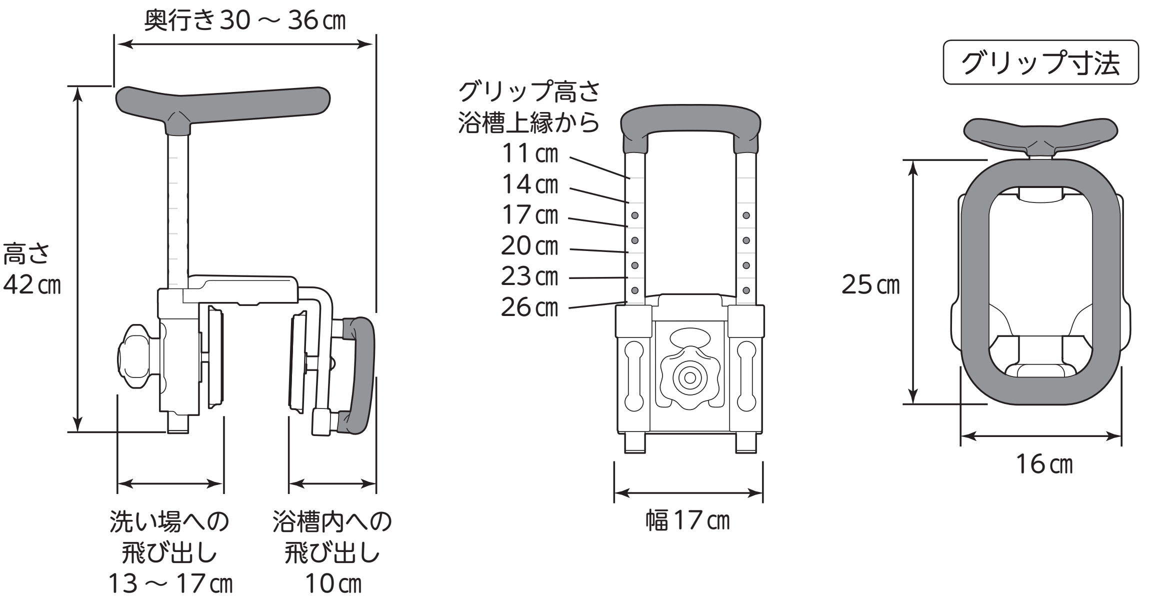






商品の寸法図と仕様

商品寸法図



仕　様

品名	高さ調節付浴槽手すり UST-130R	
構成部品	部　品　名	材　　質
	ハンドル、内グリップ、押圧板、スライドカバー	ポリプロピレン ※内グリップはエラストマー被覆
	押圧ゴム板、ネジキャップ	エラストマー
	グリップ支柱、グリップ部、グリップ固定ネジ、フレーム固定ネジ	ステンレス ※グリップ部はエラストマー被覆
	可動フレーム	アルミニウム
	本体フレーム	アルミニウム、ポリプロピレン
	段差補正板、フレームカバー	ポリエチレン
	ゴムシート	合成ゴム
サイズ	17 × 30 ～ 36 ×高さ 42㎝、グリップ高さ（浴槽上縁から 11・14・17・20・23・26㎝）	
重量	約 3.5㎏	

廃棄上のご注意　おすまいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告

誤った使いかたをすると**「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」**内容を説明しています。

必ず行うこと

以下は、製品が浴槽から外れ、転倒やけがの原因になったり、浴槽が破損したりする原因になりますので、必ず行ってください。

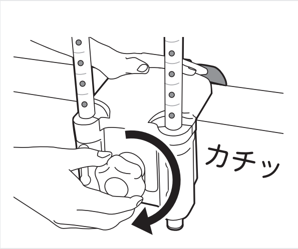
取り付ける前に、取り付けの条件を確認すること

詳しくは… 7～8ページへ

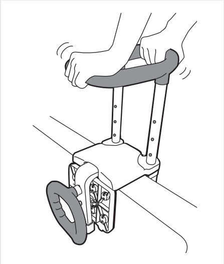
浴槽の外壁に段がついている場合は段差補正を行うこと

詳しくは… 8ページへ

ハンドルの締め付けは、必ず「カチッ」と音が鳴るまで回し、締め付けること。その後軽くゆらしてガタつきがないことを確認し、もう一度「カチッ」と音が鳴るまで締め付けること



毎回ご使用の前に、グリップを前後左右に揺らしてみて、浴槽にしっかり固定されているか必ず確認すること



ガタついている場合は… 18ページへ

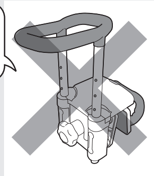
絶対にしないこと

以下は、浴槽が破損したり、使用中に手すりが外れ、転倒やけがの原因になりますので、絶対にしないでください。

改造や分解をしないこと

例）グリップを本体から抜き取り、反対向きに取り付けないこと

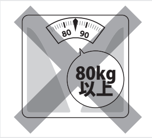
力の加わり方が変わるため、製品が浴槽から外れやすくなります。



取り付けに不安のある方、力の弱い方は取り付けないこと

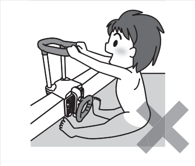
しっかり取り付いていないと、浴槽から製品が外れるおそれがあります。

体重が80kgを超える方は使用しないこと



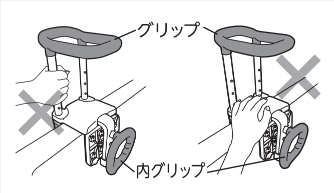
子どもを遊ばせる等、浴槽手すり以外の用途で使用しないこと

けがの原因になります。



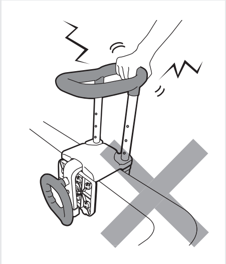
グリップ部、内グリップ以外の部分を支えにしないこと

手がすべるおそれがあります。



浴槽手すりに過度な荷重をかけないこと

反動をつけて使用したり、全体重が製品にかかるような乱暴な使い方。



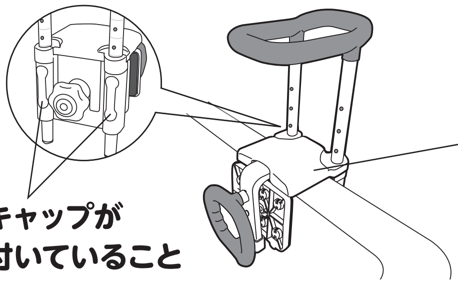
⚠ 注意

誤った使いかたをすると**「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」**内容を説明しています。

! 必ず行うこと !

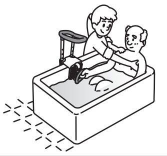
使用する前に、必ず以下の点を確認すること

安全な使いかた（必ず守ること）



詳しくは…18 ページへ

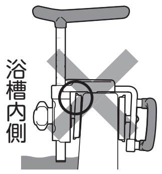
身体状況が不安定な方（ふらつきがある方など）は、介助者が付き添うこと



⦸ 絶対にしないこと ⦸

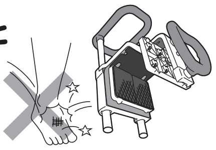
製品を逆向き(ハンドルが浴槽内側にある)に取り付けないこと

製品がしっかり取り付かない可能性があります。



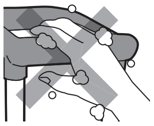
足の上などに落とさないこと

本製品は重いため、けがや床の凹みの原因になります。



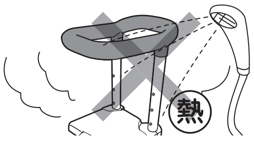
製品や手に石鹸や洗剤の泡が付いた状態で使用しないこと

手がすべり､けがの原因になります。



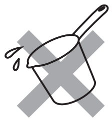
45℃以上のお湯では使用しないこと

ゴムシートがはがれやすくなります。



温泉水や､入浴剤は使用しないこと

製品が劣化する原因になります。



塩素系薬剤による風呂水洗浄をしている浴槽には使用しないこと

製品が劣化する原因になります。
※通常の水道水では問題ありません。

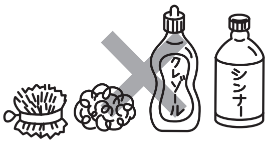
●お手入れ･保管時の注意

以下の行為を行うと、製品の変色や劣化がすすむ原因になります。

次にあげるものではお手入れしないこと

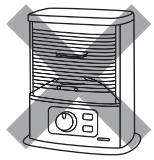
- シンナー　・クレゾール
- 塩素系薬剤をかけての殺菌、消毒
- タワシ　・研磨剤入りのスポンジ
- 磨き粉　・その他製品を傷付けるもの
- 中性洗剤以外の洗剤

製品が劣化し、けがの原因になります。



ストーブなどの火気に近づけないこと

火災や変形、変色の原因になります。

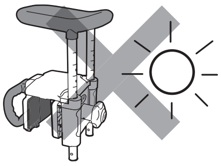


アルコール以外で消毒しないこと

変色や劣化の原因になります。

屋外に放置したり、直射日光に当てたりしないこと

劣化および変色の原因になります。



取り付ける前に

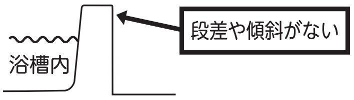
取り付ける前に確認しましょう

この製品は取り付けできる浴槽と、取り付けできない浴槽があります。**必ず 取り付けできる浴槽 に取り付けてください。**

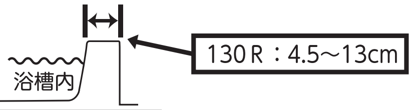
取り付けできる浴槽（全て満たすこと）

浴槽の形状

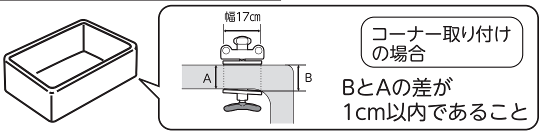
●浴槽上縁部が平らな浴槽



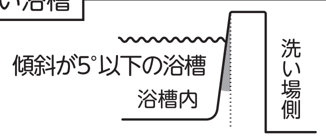
●130Ｒ：浴槽の壁厚が　4.5～13cm



●直線部分がある浴槽

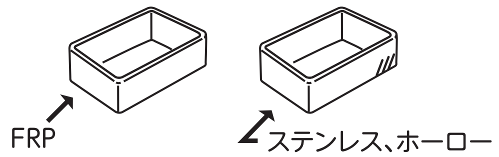


●傾斜が少ない浴槽



浴槽の材質

●FRP、ステンレス製、ホーローの浴槽

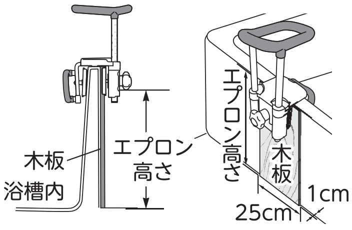


浴槽壁の強度

●右記のタイプは浴槽壁の強度が足りず、取り付けできません。

●上記の浴槽で、強度に不安がある場合（指で押すとたわむ等）は、浴槽壁を補強してください。

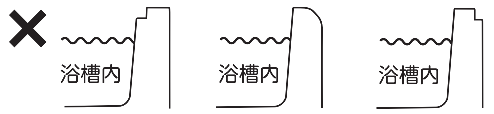
壁の補強として、幅25×厚さ1cmで、エプロン高さに合わせた長さの木板を、洗い場側に両面テープ（木板外周全て）で貼りつけてください。



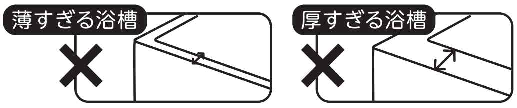
取り付けできない浴槽

浴槽の形状

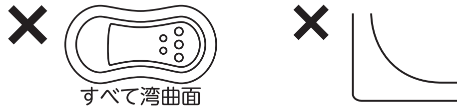
●浴槽上縁部に段差や傾斜のある浴槽



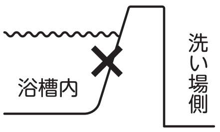
●条件外の壁厚の浴槽



●湾曲の大きい浴槽、または部位（コーナー部）

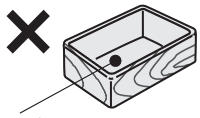


●傾斜がきつい浴槽



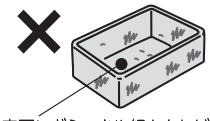
浴槽の材質

●木製や大理石の浴槽



内側がぬめる、著しくすべりやすい浴槽には取り付けできません。

●著しく劣化した浴槽



表面にざらつきや細かなヒビ割れがある浴槽には取り付けできません。

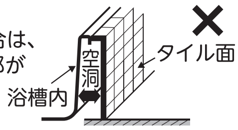
浴槽壁の強度

●浴槽外側のエプロン部を取り外しできる浴槽

※判断がつかない場合は浴槽施工業社又はお買い上げの販売店にご確認ください。

●タイル張りで、浴槽壁内部が空洞の浴槽

※天面・側面がタイル張りの場合は、タイル面を軽くたたいて、内部が空洞か確認してください。



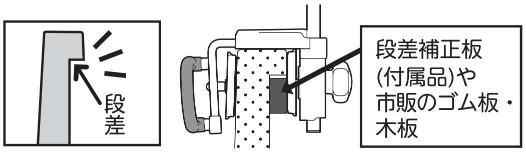
取り付けできない浴槽に無理に取り付けた場合

●手すりが外れてバランスを崩して、転倒やケガの原因になります。

●浴槽の変形、破損の原因になります。

付属品等を使って取り付けできる浴槽

上の表の「取り付けできる浴槽」の条件を満たした上で、 右図のような縁の下部に段差のある浴槽は、必ず段差を埋めて、取り付けを行ってください。

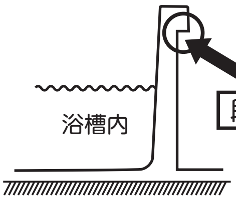


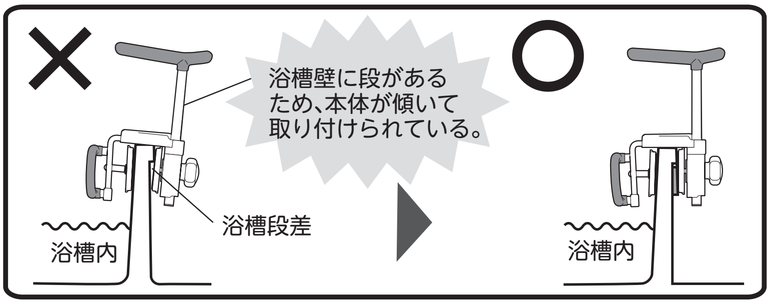
❗詳しい取り付け方法は、次ページを参照してください。

段差補正が必要な場合

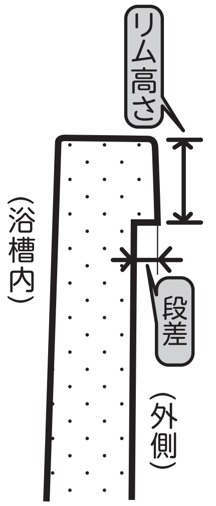
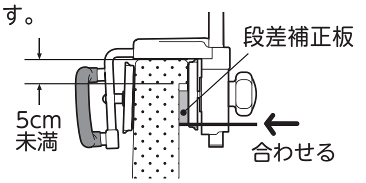
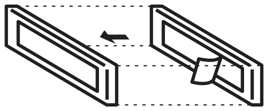
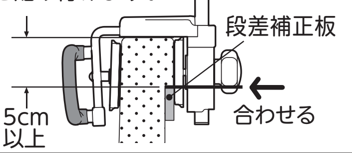
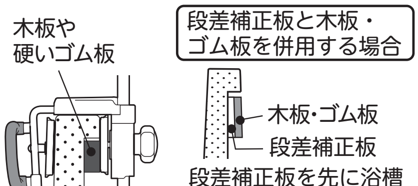
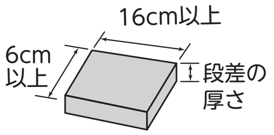
浴槽の外側に図のような段差がある場合、段差を補正すると取り付けることができます。

縁に段差のある浴槽





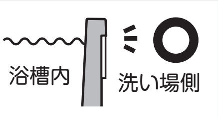
浴槽の縁に段差がある場合は、段差の大きさに合わせた補正方法に従って、補正をしてください。

浴槽壁の形状	段差	リム高さ	段差の補正方法	補正の板
	1.5cm以下	5cm未満	浴槽手すり本体のゴムシート部下端に合わせた位置に、段差補正板を貼り付けます。 	●段差補正板3枚【付属品】 （16cm×6cm×厚さ5mm） 
		5cm以上	リム下端に接する位置へ、段差補正板を貼り付けます。 	
	1.6cm以上	—	段差に合わせた厚みの木板または硬いゴム板を別途ご用意いただき、取り付けてください。  段差補正板を先に浴槽壁に取り付けること	●木板または硬いゴム板 【別途ご用意ください】 

段差厚（cm）	段差補正板必要枚数
0.5	1枚
1.0	2枚
1.5	3枚

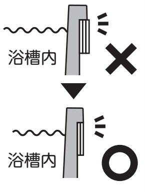
段差補正を行うときは、しっかり固定するために、必ず以下に従うこと

段差補正板や木板・ゴム板は必ず洗い場側へ取り付けること



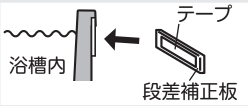
段差と段差補正板･木板･ゴム板の寸法はできる限り合わせること

完全に寸法が合わない場合、段差補正板等が浴槽の段差よりはみ出さないようすること。



段差補正板･木板･ゴム板は必ずテープで固定すること

万一段差補正板がとれた場合、浴槽壁に残ったのりをきれいに取り除き、市販の強力な両面テープで段差補正板を貼り直してからご使用ください。



木板やゴム板にぬめりや反りが出たら、交換すること

確認しましょう
安全上のご注意
取り付ける前に
取り付けましょう
使いましょう
お手入れしましょう
困ったときには

取り付ける前に

可動フレーム幅を調節しましょう

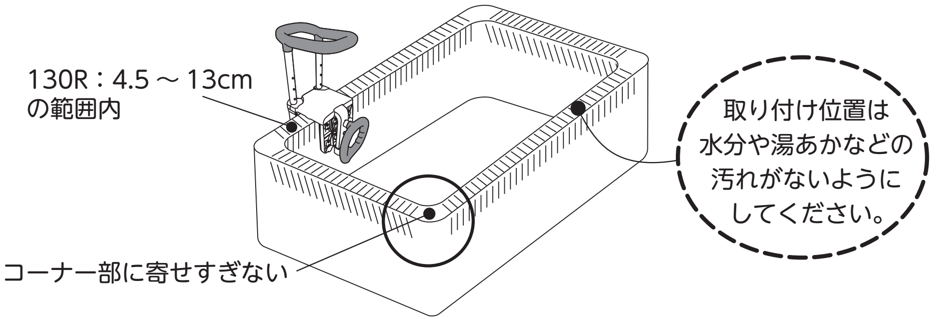
ご注意

P. 7の取り付け条件に従って取り付けてください。
力のない方は取り付けないでください。
取り付けに不安のある方は、介助者などのしっかり取り付けられる方が取り付け、取り外しを行うか、お買い上げの販売店やケアマネジャーなど専門家に相談してください。しっかり取り付けられていない状態で使うと、転倒の危険があります。

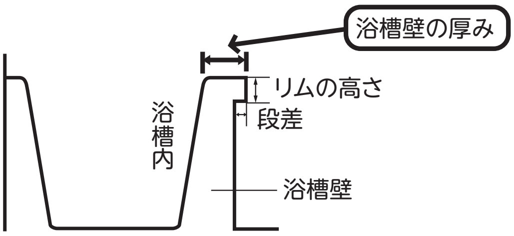
取り付ける位置を決めます

取り付け位置は、使う方の体格や入浴動作をしやすいよう、お買い上げの販売店やケアマネジャー等の専門家に相談することをおすすめします。

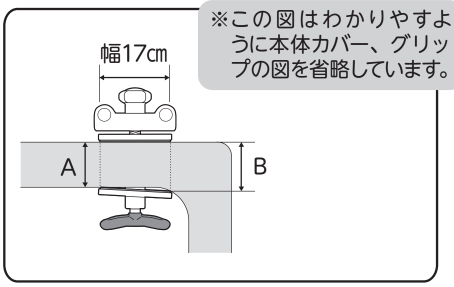
※浴槽壁の厚みが、以下の範囲を満たす場合、取り付けができます。



1. 取り付け位置の浴槽壁の幅（厚み）を測ってください

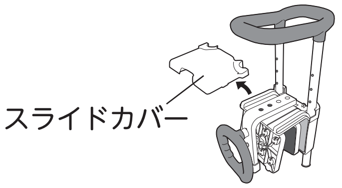


●端に寄せて取り付ける場合は、BとAの差が1cm以内であることを確認してください。



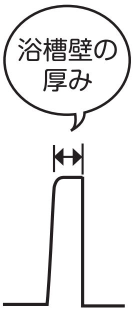
浴槽壁の厚みによって、あらかじめ本体の調節が必要な場合があります。
P.10 3. 可動フレームの調節範囲を確認しますの表に従い、取りつける浴槽の厚みに合わせて、可動フレームをずらし、幅調節を行ってください。

2. スライドカバーを外します

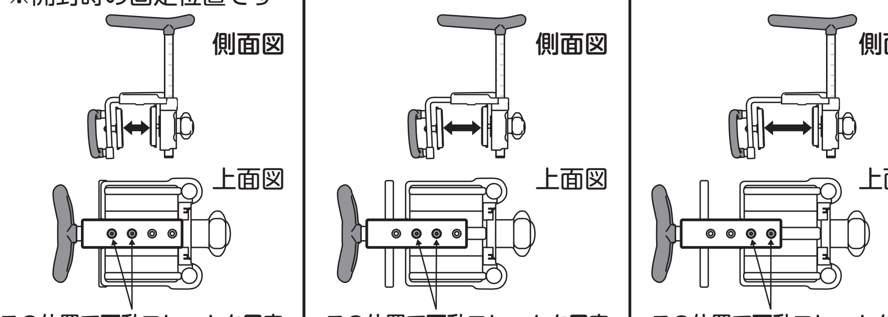


3. 可動フレームの調節範囲を確認します

浴槽壁の厚みとフレーム幅を合わせます。P.9 で測った浴槽壁の厚みが、下表の 範囲(1)〜(3) のどれに適合するか確認し、下図のようにフレーム幅を調節してください。

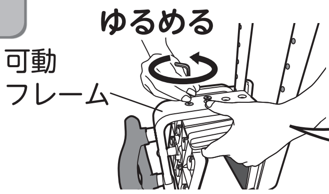


フレーム幅の調整範囲		
範囲(1) 4.5〜7.5㎝	範囲(2) 7.6〜10.5㎝	範囲(3) 10.6〜13㎝
※開封時の固定位置です		
側面図 / 上面図	側面図 / 上面図	側面図 / 上面図
この位置で可動フレームを固定	この位置で可動フレームを固定	この位置で可動フレームを固定
6. 固定状況を確認しますへ	4. フレーム固定ネジを外しますへ	



4. フレーム固定ネジを外します

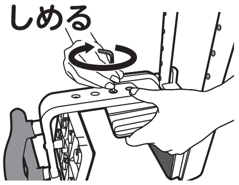
図のように、可動フレームを支えながら､付属の六角レンチでフレーム固定ネジを外してください。



⚠ 製品が重いので、足の上に落とさないよう、取り扱いには十分注意してください。

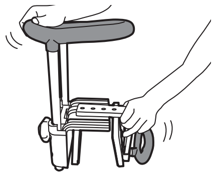
5. 可動フレームをスライドさせ、フレーム固定ネジを締めます

3. 可動フレームの調節範囲を確認します の表に合わせて、可動フレームをスライドさせ、付属の六角レンチでフレーム固定ネジを締めてください。



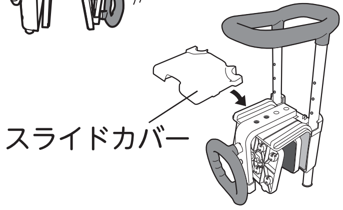
6. 固定状況を確認します

可動フレームがしっかり固定されていることを確認してください。ぐらついた場合は、フレーム固定ネジをさらに締め、しっかり固定してください。



7. スライドカバーを取り付けます

スライドカバーを取り付けてください。



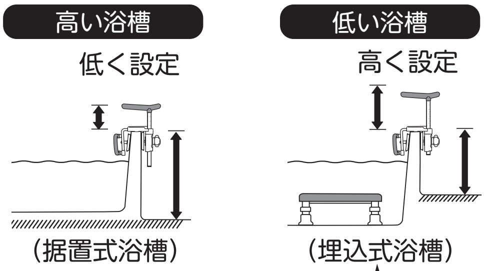
確認しましょう
安全上のご注意
取り付ける前に
取り付けましょう
使いましょう
お手入れしましょう
困ったときには

グリップの高さ調節をしましょう

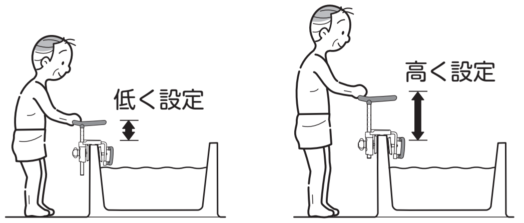
高さ調節のめやす

浴室環境や利用者の体格、症状に合わせて、グリップの高さ調節を行ってください。

① 浴槽に合わせて高さ調節

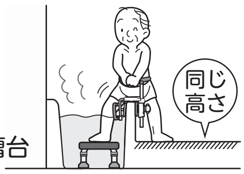


② 体格に合わせて高さ調節



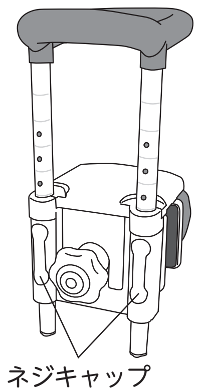
小柄な方も大柄な方も握りやすい高さに設定できます。

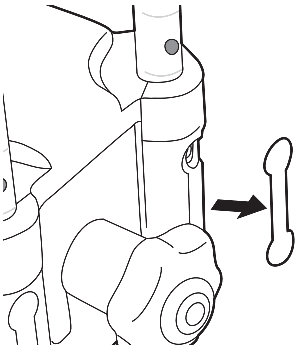
浴槽台との組み合わせがおすすめ
洗い場と浴槽内を同じ高さにすると、またぐとき身体のバランスが安定します。



1. ネジキャップを外し、グリップ固定ネジを外します

ネジキャップを外し、付属の六角レンチで、グリップ固定ネジをひとつずつ外してください。

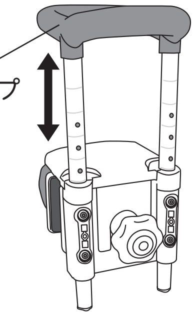




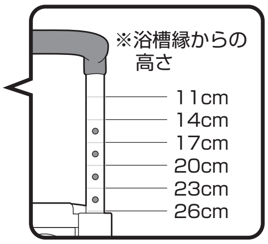
2．お好みの高さに設定します

グリップをスライドさせて、お好みの高さに設定してください。

※開梱時は浴槽の縁から26㎝の高さに設定されています。

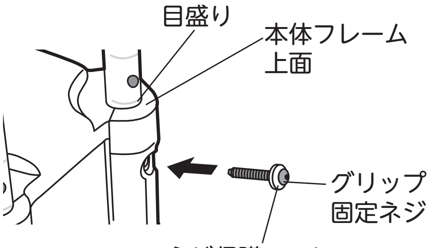


［高さ対応図］



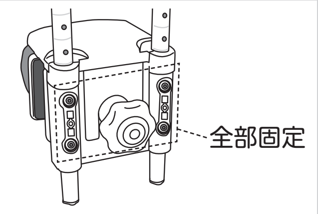
3．グリップ固定ネジを締めます

手すり本体にある目盛りと本体フレームの上面を合わせながら、グリップ固定ネジを取り付けて締めてください。
（4ヶ所を少しずつ締めてください）

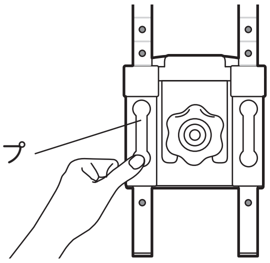


グリップ固定ネジ（4本）でしっかり締めつけること

ネジがゆるんでいると、使用中にネジが外れ、破損やけがの原因になります。



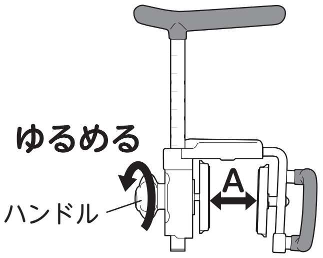
4．最後に1.で外したネジキャップを元通りにはめます



取り付けましょう

1. ハンドルを回し、押圧板を広げます

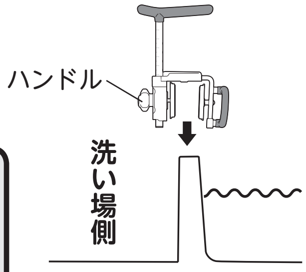
ハンドルを左に回し、A の部分を一番広い状態にしてください。



ハンドルを左に回しすぎると、ハンドルが空回りしてしまうので、ご注意ください。
万一、空回りした場合は、P.20 を見て、解除してください。

2. 製品を浴槽壁にのせます

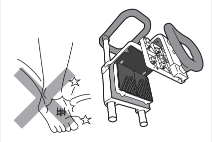
ハンドルが洗い場側に向くように浴槽壁の取り付けたい位置に製品をのせてください。



●取り付け方向を間違えないこと

●足の上などに落とさないこと

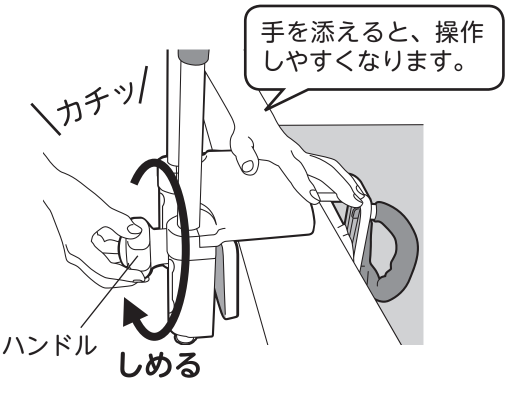
本製品は重いため、けがや床の凹みの原因になります。



3. 製品を浴槽に固定します

製品を水平にし、ハンドルを「カチッ」という音が鳴るまで、右に回して締めてください。

（手に、ハンドルの締め付けがかたくなり、最後にガクッとする感覚があります。）

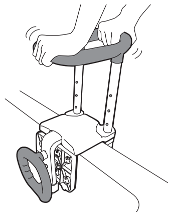


4. 固定状況を確認します（完了）

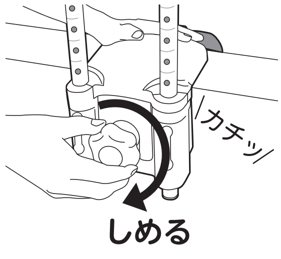
※必ずこの手順を行ってください。しっかり取り付いていない可能性があります。

最後に、グリップを握り、前後左右に軽くゆらし、しっかりと取り付けられ、動かないことを確認し、**もう一度ハンドルを「カチッ」という音が鳴るまで締めてください。**

①軽くゆらして確認

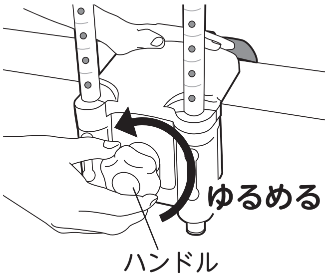


②もう１度締める



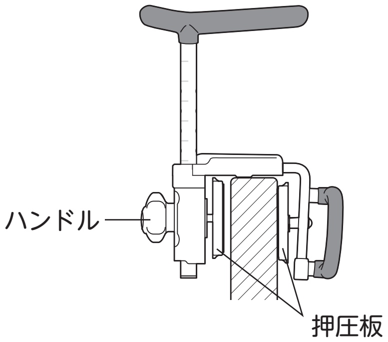
はずしかた

①ハンドルを左に回して、ゆるめてください。
※浴槽壁から製品が落下しないように手を添えてください。



②押圧板が確実に浴槽壁から離れていることを確認し、浴槽から外してください。

製品を浴槽から取り外すときは、ハンドルの回しすぎ（ゆるめすぎ）にご注意ください。
もしゆるめすぎてハンドルが空回りした場合は、P.20「ハンドルが空回りしたときの解除方法」を参照し解除してください。



製品が重いので、足の上に落とさないよう、取り扱いには十分注意してください。

使いましょう

ご使用になる前に

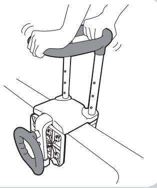
警告

本品がしっかりと浴槽に固定されているか、確認すること

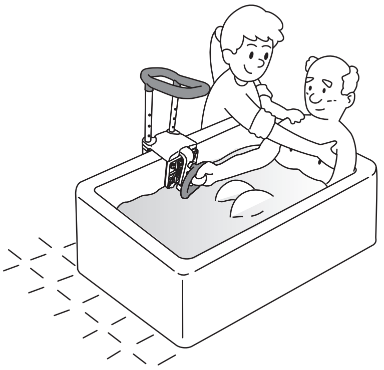
詳しくは…**18ページ「毎回の点検」へ**

確認方法

製品を前後左右に軽くゆらして確認してください。

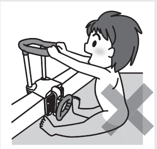


使用者の身体状況によっては（ふらつきがある方など）、介助者が必ず付き添ってください

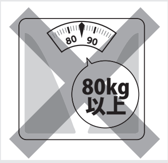


警告

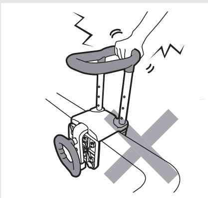
子どもを遊ばせる等、浴槽手すり以外の用途で使用しないこと
けがの原因になります。



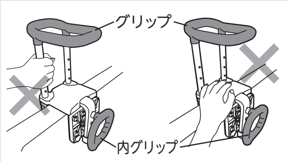
体重が80kgを超える方は使用しないこと



浴槽手すりに過度な荷重をかけないこと
反動をつけて使用したり、全体重が手すりにかかるような乱暴な使い方。



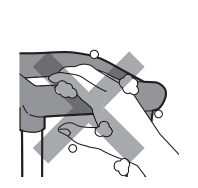
グリップ、内グリップ以外の部分を支えにしないこと
手がすべるおそれがあります。



注意

温泉水や、入浴剤は使用しないこと
製品が劣化する原因になります。

製品や手に石鹸や洗剤の泡が付着した状態で使用しないこと
手がすべり、けがの原因になります。



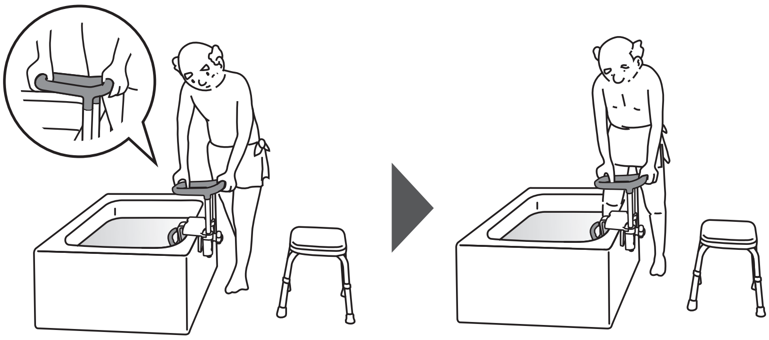
塩素系薬剤による風呂水洗浄をしている浴槽には使用しないこと
製品が劣化する原因になります。　※通常の水道水では問題ありません。

使いましょう

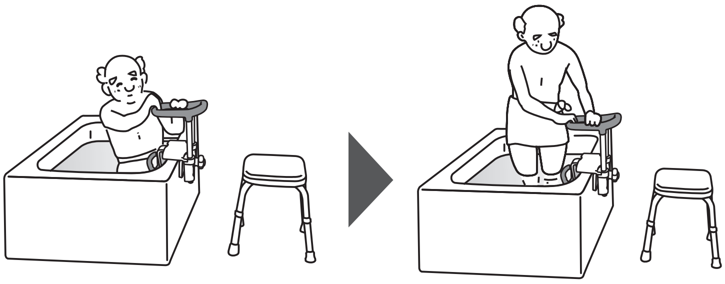
1. 浴槽をまたぐときに使用する

両手でグリップ部をしっかり握って、片足ずつゆっくりと移動してください。

両手でしっかりグリップ部を握ってください。



2. 浴槽内からの立ち座りに使用する

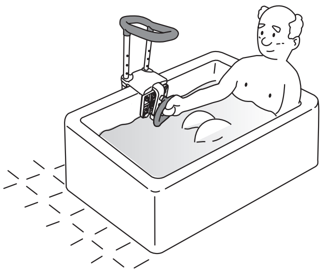


3. 洗い場で、いすからの立ち座りに使用する

グリップ部を握って、身体を支えながら立ち座りを行ってください。
※シャワーベンチを併用すると、より安心して立ち座りできます。

4. 浴槽内での姿勢安定に使用する

内グリップは「浴槽内での姿勢を安定させるとき」と「立ち上がり時に体を引き寄せるとき」に使用してください。



お手入れしましょう

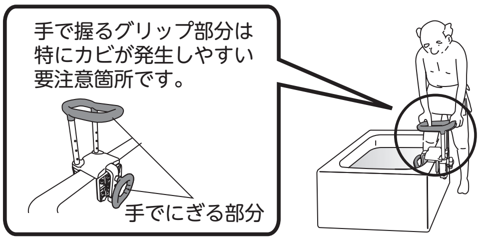
浴槽手すりは、下記の手順に従って、こまめにお手入れしてください。

● 45℃以上のお湯は使用しないこと。ゴムシートがはがれやすくなります。
●製品が重いので、足の上に落とさないよう、取り扱いには十分注意してください。

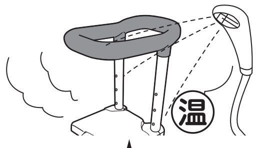
お掃除のしかた

日常のお手入れ方法（カビの発生予防）

カビやぬめりが発生するとすべりやすくなる原因となります。こまめにお手入れしてください。
※十分なお手入れをしていても、使用環境によっては、カビが発生してしまう場合があります。

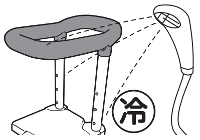


① **使用後、製品にお湯をかけ、中性洗剤で洗う**（カビの栄養を洗い流す）
- ご使用になった製品にお湯をかけ、湯あかなどのカビの栄養素を溶かして洗い流します。
- 中性洗剤をうすめて、スポンジかやわらかい布にふくませ、汚れをとってください。

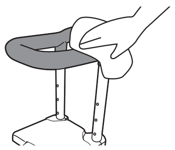


⚠やけどには十分にお気をつけください。

② **冷たい水をかける**（温度を下げる）
- 次に、きれいな冷たい水で洗剤を洗いながし、熱気がこもらないように冷やします。



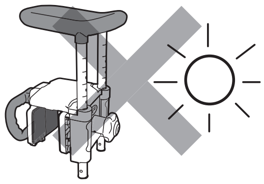
③ **水気をとり乾燥させる**（湿度を下げる）
- 最後に、製品の水気を乾いた布でとり、かげ干ししてください。



※製品を浴槽から取り外し、再度取り付けたときはP.15の「ご使用になる前に」を確認してください。
※消毒はアルコールを使用してください。また、P. 6 下部の「お手入れ・保管時の注意」も参照してください。

保管のしかた

直射日光の当たらないところで保管してください。



点検のしかた

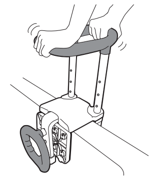
安全に長くお使いいただくために、必ず点検やメンテナンスを行ってください。

毎回の点検（必ず行うこと）

お手入れして取り付けた後や、ご使用になる前に本品がしっかりと浴槽に固定されているかを確認してください。

確認方法

製品を前後左右に軽くゆらして、ゆるんでいないかを確認。



ガタついたりズレ動いたりした場合は、製品を取り外し、P.13 を参照しながら浴槽へ再度取り付け、しっかり固定してください。※取り付け面のヌメリは拭き取ってください。

毎回の点検 のときに、ハンドルを回すだけの締めなおし（増し締め）は行わないこと

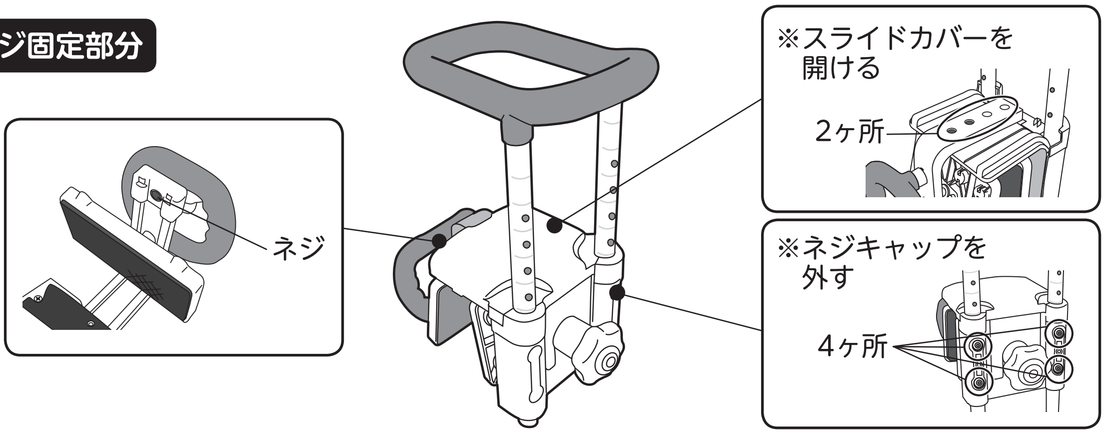
製品を取り外さずハンドルだけ締めると、浴槽が破損するおそれがあるので、ガタつきの有無にかかわらず、むやみにハンドルを回さないでください。

異常時の点検

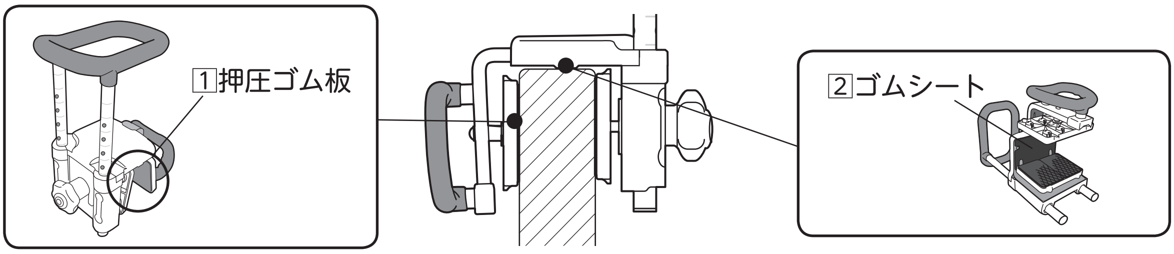
ガタつきが**毎回の点検**で直らない場合、以下をご確認ください。
下記の対応でガタつきが直らない場合はただちに使用を止め、お買い上げの販売店や弊社「お客様相談室」までご相談ください。

①以下の部分のネジがゆるんでいないことを点検してください。

ネジ固定部分



②押圧ゴム板やゴムシートが外れている場合は、以下の対応をしてください。

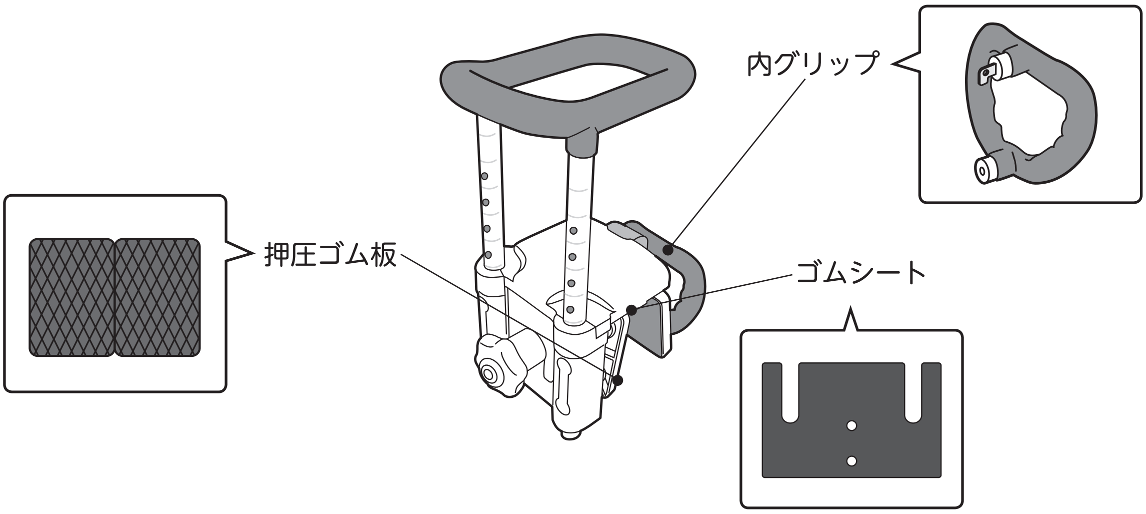


1 押圧ゴム板が外れた場合は、P.19「押圧ゴム板の交換方法」を参考にしてはめ直してください。凸部が破損するなどしてはめられない場合は、新しい押圧ゴム板に交換してください。
2 ゴムシートがはがれた場合は、ただちに使用を中止し、新しいゴムシートに交換してください。

お手入れしましょう

③消耗品の異常がある場合は、交換してください。

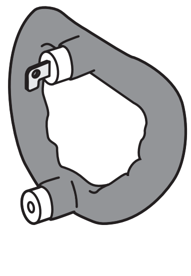
内グリップ、押圧ゴム板、ゴムシートは交換部品です。汚れたり、破損した場合は、お買い求めになった販売店にお問合わせの上ご購入し、交換してください。



各部品の交換方法

内グリップ

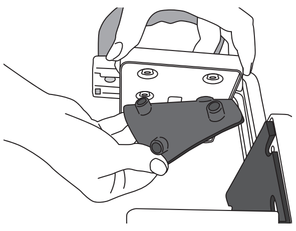
P.21を参照してください。



押圧ゴム板

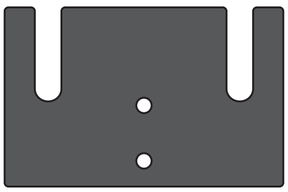
①押圧板のゴム板を端からはがしてください。

②新しいゴム板の裏面４ヶ所の凸部を押圧板凹部４ヶ所にはめ込んでください。



ゴムシート

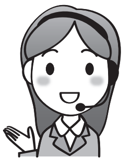
部品購入時、ゴムシートに部品交換用取扱説明書が付属していますので、ご参照ください。



困ったときには

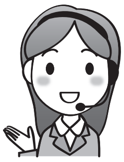
よくあるご質問

Q.1 浴槽に取り付け後、浴槽手すりがガタつきます。



A. 18ページの「毎回の点検」「異常時の点検」を確認し、対処してください。

Q.2 ハンドルが空回りします。

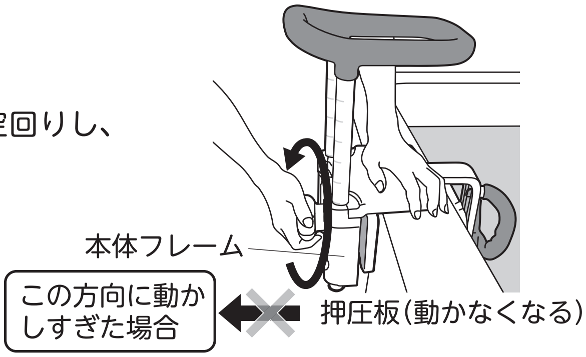


A. 下記に従い、ハンドルの空回りを戻してください。

ハンドルが空回りしたときの解除方法

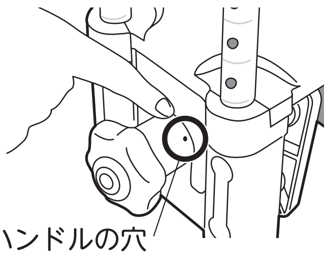
●空回りの状況

ハンドルを左に回し過ぎるとハンドルが空回りし、押圧板が動かなくなる場合があります。



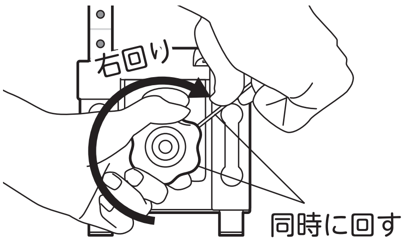
●解除方法

①棒状の工具(付属の六角レンチなど)を、ハンドルに開いている穴に差し入れてください。ハンドルの穴の穴径はφ4mmです。



▼

②ハンドルと工具を同時に右に回して空回りを解除してください。

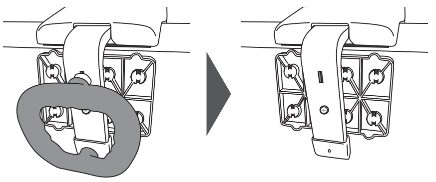


棒状の工具以外の折れる可能性があるもの（ペン、おはし等）を使わないこと
製品の破損の原因になります。

? 困ったときには

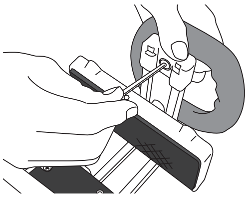
Q.3 浴槽が狭いので、内グリップを取り外したい。

A. 内グリップは、不要の場合取り外すことができます。その場合は下記に従って、取り外してください。

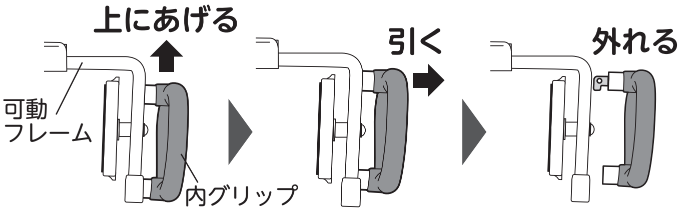


内グリップの取り外しかた

①可動フレームの裏側の下端にあるネジを付属の六角レンチで外してください。
※ネジをゆるめづらい時は、P.9～10「可動フレーム幅を調節しましょう」を参考に、可動フレームを外してください。



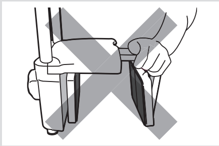
②内グリップを図のように、可動フレームから外してください。
※内グリップとネジは大切に保管してください。



内グリップを外してのご使用時の注意事項

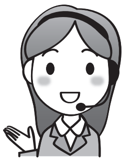
●入浴中や立ちあがり時に、可動フレームをささえにしないこと

●再度取り付ける場合は、しっかりネジを締めて固定すること



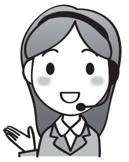
※「取り付け」は「内グリップの取り外しかた」の逆の手順で行ってください

Q.4 カチッとなるまでハンドルを締められません。



A. カチッとなるまで、両手や濡れぞうきんをハンドルにまくなどして、ハンドルを回してください。
(それでも回らない場合は、ご連絡ください)

Q.5 調節用のネジ(フレーム固定ネジ、グリップ固定ネジ)を無くしてしまいました。



A. 市販品は絶対に代用せず、弊社お客様相談室までご相談ください。

その他、

商品の**ご購入**に関するお問い合わせ、ご相談は…お買い求めの販売店へ
商品の**仕様等**に関するお問い合わせ、ご相談は…下記お客様相談室へ

不具合が発生したとき

万一故障したり、また異常を感じた場合は、ご自分で修理、改造などを絶対にしないで、お買い上げの販売店にご相談ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきますので、製品に保証書（取扱説明書）を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

アロン化成株式会社
お客様相談室 フリーダイヤル **0120-86-7735**
（受付時間）祝祭日以外の
月～金 9:00～17:00
（12:00～13:00 は除く）

保 証 書

見本

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様が取扱説明書・本体添付シール等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に万一故障した場合には、本保証書記載内容により無料修理いたします。有効期間は、お買い上げの日より１年間です。

1．修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。修理に際しては、本保証書をご提示、もしくは添えてください。
2．ご贈答、ご転居でお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合は、お客様相談室にご相談ください。
3．本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
4．保証期間内でも下記の場合は、有料修理になります。
   1）保証書のご提示がない場合。
   2）本保証書のお買い上げ日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   3）使用上の誤り、あるいは改造、修理、調整による故障または損傷。
   4）お買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の不適切な取り扱いによる故障または損傷。
   5）火災、地震、塩害、ガス害、風水害、落雷、異常電圧、その他の天災地変による故障または損傷。
   6）押圧ゴム板やゴムシートなど消耗品の損傷及び汚れ。
   7）業務用または一般家庭用以外にご使用の場合の故障または損傷。
5．本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6．保証書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈個人情報の取扱いについて〉
1）保証書にご記入いただいた住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用いたします。
なお、本書にてお預かりするお客様の個人情報をお客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。
2）修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合、守秘義務契約を結び当社と同等の水準でお客様の個人情報を取り扱うように管理いたします。

★お買い上げ日	年　　月　　日
保 証 期 間	**お買い上げ日より１年**
お　客　様	ご住所　〒 ご芳名　TEL
★販 売 店	住　所　〒 店　名　TEL

この保証書はご使用できません

★ 印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
もし記入のない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

■保証書について

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。尚、保証書の再発行はいたしません。

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

製品に関するご意見･お問い合わせは

お客様相談室
フリーダイヤル 0120-86-7735
（受付時間）祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
（12:00～13:00はのぞく）

製造・発売元
アロン化成株式会社
ライフサポート事業部
〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階
URL　http://www.aronkasei.co.jp/　安寿　検索

13.06　919034